

高浜発電所 1 号機の出力降下について

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

高浜発電所 1 号機（加圧水型軽水炉；定格出力 8 2.6 万 k W）は、定格出力で運転中であるが、今月 15 日に行った 2 次系熱交換器の運転パラメータ確認（2 ヶ月に 1 回）において、B 系統の第 6 高圧給水加熱器^{*1}のドレン（凝縮水）流量が A 系統に比べ若干多いことから、ドレン流量の推移について監視強化とともに、各パラメータについて検討、評価を行うこととした。

その結果、B 系統の第 6 高圧給水加熱器のドレン流量が 4 月初旬からわずかに漸増傾向にあり、本日 10 時 31 分、ドレン流量が急激に増加したことから伝熱管からの漏えいと判断し、本日 11 時から出力降下を開始し、12 時頃に電気出力を約 75% とし、B 系統の第 6 高圧給水加熱器について点検を実施することとした。

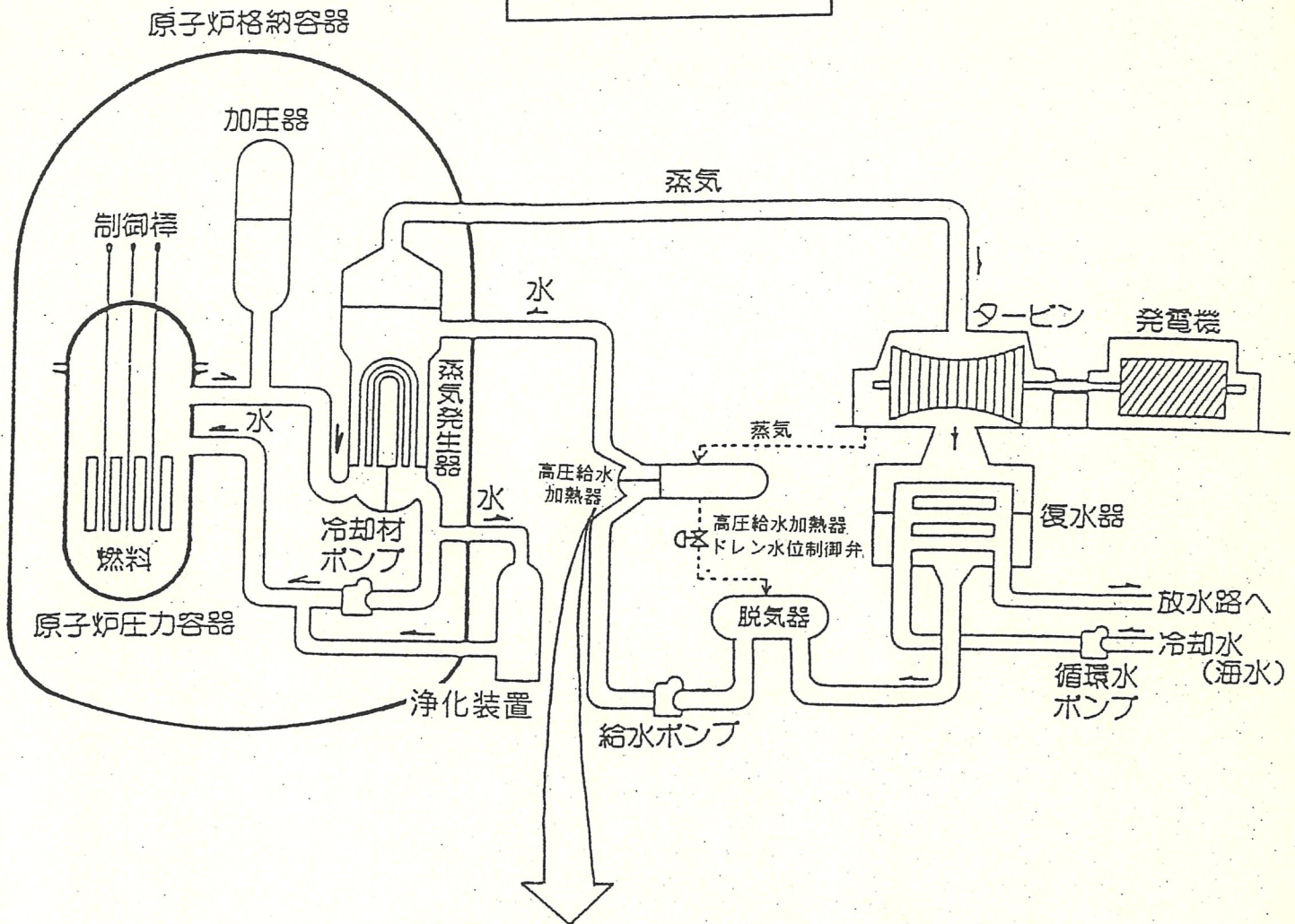
なお、今回の事象による環境への放射能の影響はない。

* 1：高圧給水加熱器は、蒸気発生器に送り込む 2 次冷却水（給水）を温めるために設置されている U 字管タイプの熱交換器。伝熱管（U 字管）内を流れる 2 次冷却水を、高圧タービンの排気蒸気により加熱する構造となっている。加熱後の蒸気はドレン水（凝縮水）となり、給水系統に戻る。

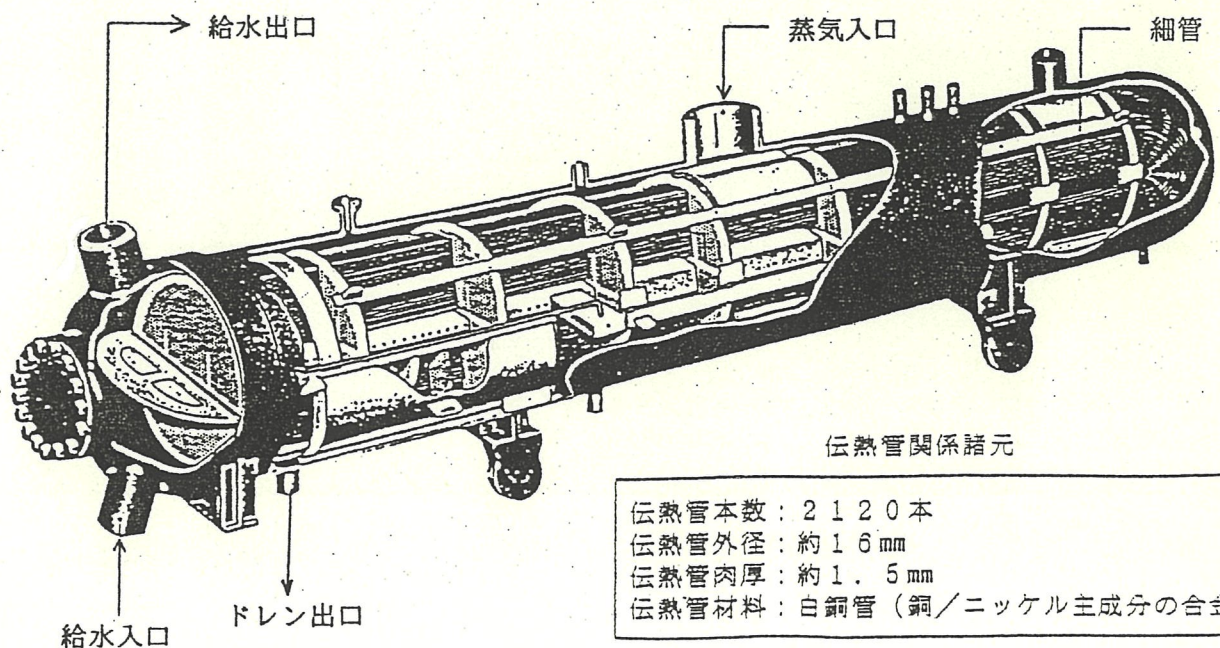
（経済産業省による I N E S の暫定評価尺度）

基準 1	基準 2	基準 3	評価レベル
—	—	0 —	0 —

系統概要図



高圧給水加熱器概要図



伝熱管関係諸元

伝熱管本数：2120本
 伝熱管外径：約16mm
 伝熱管肉厚：約1.5mm
 伝熱管材料：白銅管（銅／ニッケル主成分の合金）